

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和5年6月19日（月）

事務事業		下水道企業会計管理事務		担当課	企業経営課	担当係	企業経営係	管理番号	41111	
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1 都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	地方公営企業法					
	小項目	2 水の安定供給と下水処理の適正化								
	主要プロジェクト									
事業概要		下水道事業の健全運営のため、下水道事業会計における事務全般について執行管理を行うものである。								
目的 ※何のために		持続可能な下水道事業運営を行うため。								
対象 ※誰・何を対象に		下水道事業会計に係る事務全般								
手段 ※どのように		予算編成及び決算調製等の機会をとらえて、経営戦略の進捗管理及び総合的な見直しを行う。								
成果 ※何を求めるか		下水道事業運営の健全化								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	8	土木費	5	下水道費	1	下水道整備費	下水道事業会計繰出金	768,051,000
本事業の 主な業務		・ 予算編成事務							・	
		・ 決算調製事務							・	
		・ 出納事務							・	
		・ 資産管理事務							・	
		・ 起債事務							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	768,051,000	768,051,000	670,636,000	686,947,000		
	決算額	768,051,000	768,051,000	0	0		
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
人件費	他特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	768,051,000	768,051,000	670,636,000	686,947,000		
	総事業費試算	791,414,364	790,321,846	696,290,691	712,601,691		
人件費		従事職員数（人）	3.01	2.83	3.13	3.13	
		人件費相当試算※	23,363,364	22,270,846	25,654,691	25,654,691	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 1	経営戦略進捗管理実施回数	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		実績値	2.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間 2 回（予算時、決算時） / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
成果指標 1	経営戦略の見直しを実施した割合	目標値	%	-	-	-	-	-	-	
		実績値	-							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			総合的見直しの年度が未定のため目標値設定はないが、定期的に総合的見直しを実施する / 経営戦略						
	実績値の算出式									
成果指標 2	当年度純利益の計上	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値	100.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所			当年度純利益を計上した場合は100であり、当年度純損失を計上した場合は0として表記						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	決算調製時及び予算編成時に収支計画との乖離状況等を分析するなど、年2回の進捗管理を行った。また、収支状況を注視したうえで、動力費の増加に対応するため補正予算を組むなど事業運営の安定化を図った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	令和4年度は経営戦略の総合的な見直し（ローリング）を行う該当年度ではないが、定期的に収支状況の把握に努めている。その結果、動力費や労務費等の増加による経営への影響があったものの、当年度純利益を計上することができた。
			評価者 企業経営係長 小林 史尚

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	事業計画の執行の範囲内において、交付される補助金の動向を踏まえたうえで、補助事業や単独事業を組み換えるなど、状況に順応した効率的な事業運営を行うことができた。また、公営企業会計システムのリプレイスを決定し、コスト面を抑制すると同時に、バージョンアップやカスタマイズ等を進め、より効率的なシステム運営を図ることとなった。
			評価者 企業経営係長 小林 史尚

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	下水道企業会計管理事務	担当課	企業経営課	担当係	企業経営係	管理番号	41111
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		世界情勢を背景とした動力費の急激な高騰など厳しい経営環境であったが、適切な会計管理に努めた結果、純利益を確保することができた。					
		料金改定に伴い一般会計からの基準外繰入金の削減を図るなど、運営の適正化が進捗する一方で、内部留保資金・期末現金残高が減少傾向にある。人口減少化での持続可能な事業環境に向けて、農業集落排水の公共下水道への接続や下水処理施設の統廃合など、将来の経費削減に資する取組が一層重要な状況となっている。					
		更なる運営基盤の強化及び経営の健全化に向けて、引き続き、経営戦略を基本に各種事業の着実な進捗を図る。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	企業経営課長 村尾 厚彦				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

